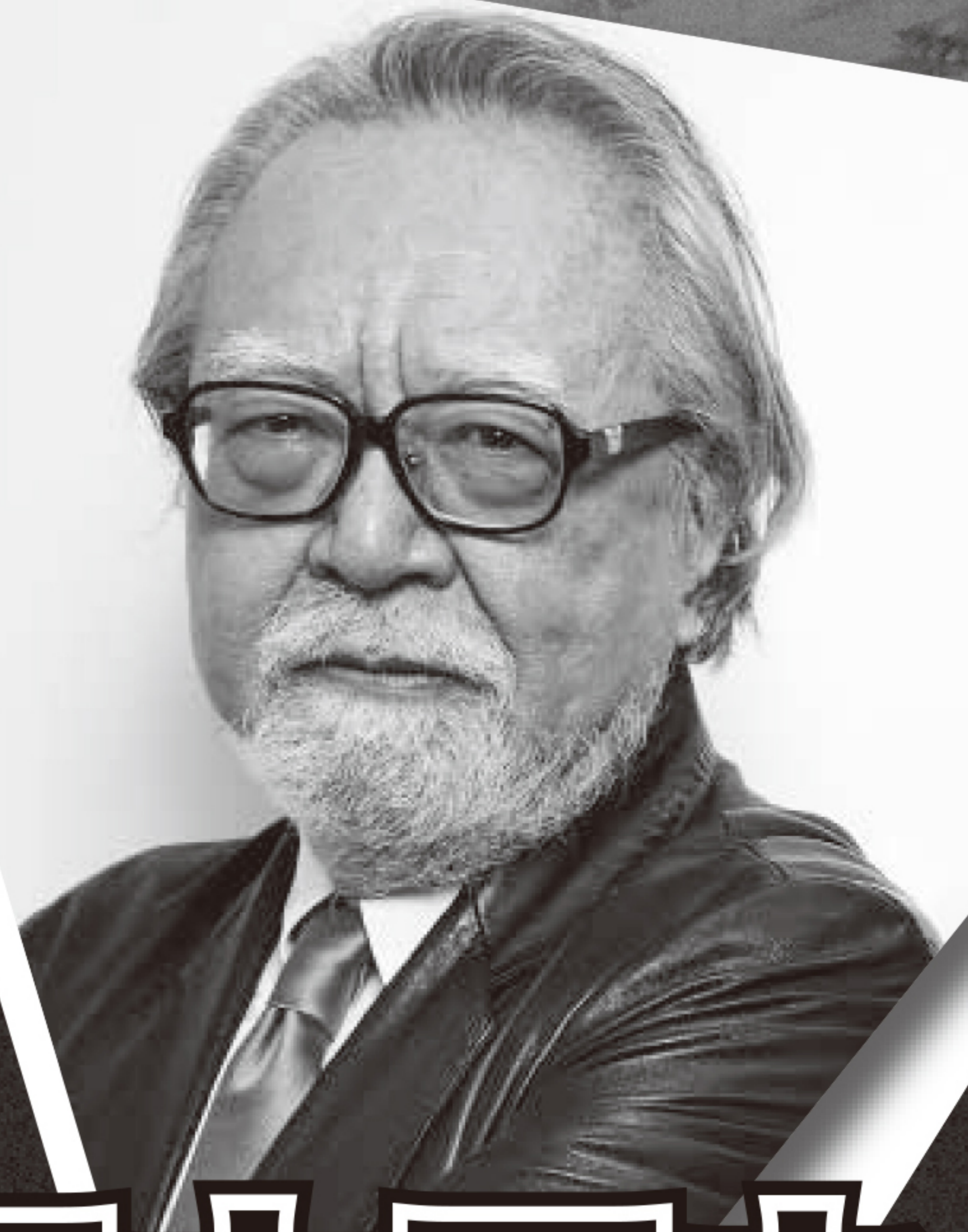


日本のスポーツ界改革 未来を担うのは過去の利権と 無縁の女性たちだ



溝口紀子

みぞぐち のりこ—— 1971年生まれ。静岡県出身。埼玉大学教育学部卒業。同大学院教育学研究科修士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程修了。柔道家。スポーツ社会学者。1992年バルセロナオリンピック女子柔道52kg級で銀メダルを獲得。引退後の2004年アテネオリンピックでは、女子柔道フランス代表チームのコーチを日本人女性としては初めて務めた。現在は、日本女子体育大学体育学部、同大学院教授、公益社団法人袋井市スポーツ協会会長、公益在台法人全日本柔道連盟評議員などを務める。おもな著書に『性と柔女子柔道史から問う』（河出ブックス）、『日本の柔道 フランスのJUDO』（高文研）がある。



玉木正之

スポーツ対談